

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1282
施設名	国立たいよう保育園
施設所在地	東京都国立市富士見台2-13-10
法人名	社会福祉法人まれ愛恵会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・保育園の周囲に自然も多くあり、子どもの興味、関心が向きやすく遊びや探求の広がりが見込めたため。
- ・園の特色として、周囲の環境を活かし、自然体験（野菜の収穫や栽培など）を豊富に行っている。

2. 活動スケジュール

6月2回	畑たんけん	(トウモロコシ ジャがいも 玉ねぎ)
10月2回	畑たんけん	(稲 サツマイモ)
12月1回	畑たんけん	(だいこん)
12月2回	調べてみよう	

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・電子顕微鏡ハンディタイプ・電子顕微鏡卓上タイプ・プロジェクター（電子黒板）・ライトテーブル
- ・地域の畑に協力いただき収穫体験
- ・3階ホールにラボスペースとドキュメント製作用のアトリエスペースをつくった。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・様々な野菜の収穫体験を通して、野菜ができていく様子の観察、抜いてみたらどうなっている？土の中には何がある？等、活動の場での気づきを促す。
- ・12月は収穫した大根の変化を毎日観察。乾燥していく大根、大根の葉の変化を顕微鏡で観察、撮影したものを友だちと共有しサークルタイムを設けた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・収穫体験では季節や場所によって土の中の様子の変化に気づく。6月の活動時は地中にも地上にも虫が沢山おり、見つけたものを園に戻ってから図鑑で観察する。似ている虫でも模様や形の違いがあることに気づき、子どもたちで気づきを共有する姿が見られた。12月の観察の際には虫がほとんどいないことに気づく。
- ・栽培されている野菜の根の張り方の違いに興味を持ち、下から出ているもの、横から出ているもの、根が長いもの短いもの等
- ・12月には収穫した大根をスライスしたものを網に載せて観察。時間が立つにつれ変化していく様子を観察。大根、大根の葉の乾燥したもの、水分のあるもの顕微鏡を使い観察する。見た目やさわり心地、重さ等、様々な変化の気づきを子ども同士で共有していた。



が分



付して



可能性が



可能なものを使用ください。)

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・「どうして野菜は土の中にいるの？」⇒「どうしてだろうね？不思議だね？」⇒「中があったかいんじゃない？」子どもたちの問いに問い直すことで興味と考えがより深まっていき、活動が発展していく様子が見られた。
- ・誰かが疑問を持つとそれを聞いた周りの子はそれぞれに意見を出し合う、一緒に考える機会が自然と増えていった。